

議 事 録

配布先	なし	主催	健康づくり推進課	No.	1	
議事録名						
平成25年度第1回佐久市保健福祉審議会保健部会						
決裁	部長	次長	課長	係長	記録者	
日 時	平成25年8月21日		開催場所	議会棟第4委員会室		
			時間	14:15~15:00		
出席者	多田委員・宮地委員・杉山委員・六川委員 花岡委員・甘利委員・山崎委員・猿谷委員・土屋委員 (欠席：小林委員・柳澤委員・町田委員) 健康づくり推進課長・望月支所長 保健事業係長・健康増進係長・保健予防係長・地域医療係長 長・口腔歯科保健係長				出席	16名
					欠席	3名
提出資料	佐久市保健福祉審議会保健部会次第 他					
(次第)						
1. 開会 工藤健康づくり推進課長 審議事項に入るまでの間、進行を務めさせていただきます。						
2. 委嘱書の交付 保健部会の委員に委嘱書を交付						
3. 自己紹介 委員・職員の自己紹介						
4. 審議会組織についての説明 事務局より保健福祉審議会組織についての説明を実施。						
5. 部会長の選出 六川委員の推薦により、多田委員が部会長に選出。 あいさつ						
6. 部会長職務代理の指名 多田部会長より、宮地委員を指名し了承。 あいさつ						
7. 報告事項 (1) 「新し保健」の取り組みについて 部会長 それでは、「新しい保健」の取り組みについて報告して下さい。 健康増進係長 佐久市における「新しい保健」の展開についてご説明します。佐久市の平均寿命は全国で男性15位女性19位とトップクラス。20年後も30年後もこの健康長寿を保つため、これまでの保健活動をさらに充実させ世界でもトップクラスの健康都市を目指すために佐久市の保健を見直す必要があります。いままでの保健活動を見直し新しい視点での保健活動の展開をしたいと考えています。資料2のとおり、「市民が生涯を通して、豊かな心と健やかな体を育てるための行動がとれる」という目標に向け自らの健康は自分で守るという市民が増えることを目指すものです。資料下段にあるとおり、6つの課題に着目しています。今の健康長寿は、現在の高齢者に学ぶところが大きいので、見直しを行う中で新しい視点を持って事業を展開したい。そのために佐久市で実施した「次世代多目的コホート研究」「ソーシャルキャピタルに関する研究」「国保レセプト点検を含む地区診断」の3つの調査研究により、現状や課題を担当した先生方に検証して頂き、「新し保健推進検討委員会」で検討頂き提案を頂くことになっています。						

議 事 録

部会長

それでは、ただ今事務局より説明がありましたが、何かご意見ご質問はございますか。

委員 なし

部会長

それでは「佐久市自殺防止対策連絡協議会」について報告願います。

健康増進係長

資料3をご覧ください。自殺対策は平成22年度から取り組みを実施してきました。自殺は個人の問題ではなく、誰にでも起きうる社会的な問題であると認識し、市民への啓発事業やゲートキーパーの養成事業、心といのちの支援相談員の設置などをおこなっています。相談員は今年度から週5日間の対応をしております。また携帯電話を導入し、直接相談員と話すことができるようにし、市民が相談しやすい状況としました。本年6月に「自殺防止対策連絡協議会」を開催し18名の委員により協議を行いました。資料のとおり取り組みを行い「生きるための支援」を推進するものです。冊子も作り9月の広報配布時に全戸配布する予定です。今後も自殺対策を実施していきます。

部会長

それでは、ただ今事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございますか。

委員

佐久市の自殺の現状はどうか

健康増進係長

平成21年から24年の4年間で94名の方が自殺で亡くなられています。平成24年は23名。年20名から25名の間で推移しています。

委員

自殺者は人と話をする、面談することを嫌う。今後も自殺対策を宜しく願いたい。

部会長

それでは他にご質問ございますか。

委員 なし

部会長

ないようですのでその他の報告事項に入ります。事務局より説明をお願いします。

保健事業係長

資料8ページをご覧ください。これは当市の健診実績の資料です。下段地域集団健診ですが、年々受診者数は増加傾向、中央の誕生月健診は、ほぼ横ばい、個別のがん検診は胃がん、大腸がんは増加、その他は横ばいまたは微減という状況です。今後もさらに多くの市民に受診してもらえよう、啓発活動を実施していきます。

地域医療係長

資料9ページをご覧ください。地域医療係は、休日と平日夜間等の一次救急を佐久医師会の協力により実施しています。佐久総合病院の再構築も所管をしています。佐久医療センターは来年3月1日に開院する計画が進められており、あわせて、臼田についても平成28年度に新しい病棟を作りながら再構築を進めていくという事でもあります。

佐久医療センターの新設により、医療環境が変わってくるので、長野県・佐久医師会・浅間総合・佐久総合・佐久市・厚生連などにより「佐久市医療体制等連絡懇話会」という会議体において佐久医療センター開院後の医療体制についての協議を進めています。佐久医療センター開院により市民が混乱しないように広報活動を進めていきます。

議 事 録

口腔歯科保健係長

資料10ページをご覧ください。本年度より、地域集団健診に合わせて「お口に関するアンケート」を行い、「生活歯援プログラム」を実施しています。このプログラムは歯周疾患の予防と、生活習慣の見直しを行う事を目的としています。このプログラムの結果は、受診者に送付され、それを市内の歯科医院に持参頂き、歯科指導をして頂くこととなります。

委員

「生活歯援プログラム」は馴染みのない言葉です。どんなものかという、健診時に歯周疾患検診を受ける方が少ない。これを解消するものと思っていれば良いと思います。自宅でアンケートを記入する。これにより口の中の「危険度」がここで区分けされます。これにより家にいながら検診ができてしまう、そして診療等が必要な方は歯科医院に来て頂き歯科検診をうけてもらうことになるので、受診率は上昇すると思われれます。さらに時間の節約にもなる。これが「生活歯援プログラム」です。「生活習慣病」にも関連しますので、佐久市が実施しようとしている「新しい保健」にマッチした事業です。佐久が全国で初めて取り組む事例となっています。

委員

どのような手立てでアンケートを配布しているのですか。

委員

佐久市のホームページで見ることができます。佐久市の健診の申し込み者に送っています。

口腔歯科保健係長

現在アンケート用紙を配布しているのは、地域集団健診の申込者のうち35歳から65歳未満の方に対し、アンケート用紙を送付しています。これを健診時に回収し、結果を本人あて郵送しています。

委員

佐久総合病院再構築についての広報だが、機能についての周知がポイントになってくると思われるので広報をお願いしたい。

部会長

佐久医療センターは原則として紹介状がないと受診出来ない。この件に関して市民にアンケートをしたところ、周知率は低い状況であり、混乱を生じる可能性がかなりある。今後もいろいろな広報をし、周知していくという予定です。もし紹介状なしで受診した場合、佐久医療センターで受診出来ない科がある。たとえば皮膚科・精神科・眼科など。知らずに来てしまった場合は、他の病院にいったらということなる。飛び入りの場合はこのようなこともあるので、医師会としても周知をしていきます。

地域医療係長

市では「出前講座・まちづくり講座」という事業を行っている。地域の医療体制等についても実施しているので、ぜひご利用を頂きたい。

部会長

それでは、ただ今事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございますか。

委員 なし

部会長

それではその他に移ります。何かありますか。

議 事 録

8. その他

保健予防係長

お手元に配布しております「保健予防事業の概要」ですが、平成23年度の実績をまとめた冊子ですので、のちほどご覧頂ければと思います。

健康増進係長

「食育推進計画」は平成23年度の末に作成しました。食育事業は、新しい保健に合わせても事業展開をして参りますので、よろしくお願ひ致します。また「佐久市健康づくり21計画」の2次計画を平成27年に策定することになっておりますので、平成26年度から順次準備をさせていただきます。今後保健部会でもご協議頂くこととなりますがよろしくお願ひ致します。

部会長

それでは他にご質問ございますか。

委員 なし

部会長

ないようですので本日の審議事項はこれにて全て終了しました。大変ご苦勞様でした。

9. 閉会

健康づくり推進課長

大変ありがとうございました。これもちまして、保健福祉審議会「保健部会」を終了いたします。ご苦勞様でした。